

招 へ い 研 究 者 報 告 書

招へい研究者氏名	中国青海民族大学蔵学院 喬旦加布 (QIAODAN Jiabu/チョルテン ジャブ)			
招へい期間	(西暦) 2024年11月1日～2024年12月31日			
受入機関	東西学術研究所			
受入担当者	所 属	文学部	資 格	教授
	氏 名	篠原 啓方		
講演会実績				
<p>○研究者向け講演会タイトル：チベットアムド地域における仏教の復興運動と民間儀礼の変容について</p> <p>○日時：2024年12月14日、13:00～14:30</p> <p>○概要：本講演は、チベット（青海省黄南チベット自治州同仁県保安鎮ワッコル村）での民俗調査を例に、現代における伝統村落の変化について述べたものである。同地域では、観光振興策によって利益重視の考えが広がり、農業をはじめとする生業従事率や伝統的な村落の組織に変化が見られ、信仰においてもチベット仏教の復興運動の影響から、村の祭祀における供物（殺生した家畜）の使用が禁じられるなど、従来の伝統信仰（ボン教・山神崇拜）とチベット仏教の共存関係に変化が生じている。村落のコミュニティやアイデンティティが変化を余儀なくされている現状と、その背景にあるチベット文化への国内外からの関心、そしてそれを取り込んだ中国政府のチベット政策との関係を浮き彫りにした貴重な講演であった。</p> <p>○学生向け講演会タイトル：中国青海省におけるチベット族村落社会と祭祀儀礼に関するフィールド調査方法について</p> <p>○日時：2024年12月19日、13:00～14:30</p> <p>○概要：本講演は、チベット（青海省黄南チベット自治州同仁県保安鎮ワッコル村）での民俗調査を例に、人類学におけるフィールドワークの知識と方法論などについて述べたものである。人類学の基礎概念に始まり、事前の資料・情報収集、現地担当者への連絡、タブーやマナーへの配慮、インフォーマントとの関係構築、インタビューや撮影の方法などについて、PPTを用いて分かりやすく解説した。フィールドワークを必要とする大学院生との質疑も行われ、有意義な時間となった。</p>				